

安全データシート

リユーコストラット CDx FLT3 変異検査®

本書は、K-412-0331 のカタログ番号及びその使用目的を含むリユーコストラット CDx FLT3 変異検査®の各構成試薬に関する安全データシートです。

リユーコストラット CDx FLT3 変異検査は PCR ベースの in vitro 診断用検査で、急性骨髄性白血病と診断された患者の末梢血または骨髄穿刺液中の単核細胞から抽出したゲノム DNA を用いて、FLT3 遺伝子の内部タンデム重複 (ITD) 変異およびチロシンキナーゼドメイン (TKD) 変異 D835 および I836 を検出するようにデザインされています。

リユーコストラット CDx FLT3 変異検査の使用は、ギルテリチニブフマル酸塩の AML 患者への適応を判定するための補助に用いる。

リユーコストラット CDx FLT3 変異検査の使用は、キザルチニブ塩酸塩の AML 患者への適応を判定するための補助に用いる。

構成試薬リスト:

カタログ番号	試薬名	試薬ラベル
R0880220	FLT3 抽出コントロール	FLT3 抽出コントロール Extraction Control
B4120131	FLT3 ITD マスターミックス	FLT3 ITD マスターミックス Master Mix
B4120141	FLT3 TKD マスターミックス	FLT3 TKD マスターミックス Master Mix
R0880200	FLT3 ITD 陽性コントロール	FLT3 ITD ポジティブコントロール Positive Control
R0880210	FLT3 TKD 陽性コントロール	FLT3 TKD ポジティブコントロール Positive Control
R0930060	FLT3 NTC (テンプレートを含まないコントロール)	FLT3 NTC FLT3 No Template Control
261604	Taq DNA ポリメラーゼ	Taq DNA ポリメラーゼ Taq DNA Polymerase
261779	EcoRV 酵素	EcoRV 酵素 EcoRV Enzyme
261780	NE 緩衝液 3.1	NE 緩衝液 3.1 NEBuffer 3.1

©2022 Invivoscribe, Inc. 全著作権所有。本書に記載されている商標は、Invivoscribe, Inc. および/またはその関連会社、または (本書で使用されている他の商標に関しては) それぞれの所有者の所有物です。

安全データシート



FLT3 抽出コントロール Extraction Control

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : FLT3 抽出コントロール Extraction Control

カタログ番号 : R0880220

製品を特定する他の方法 : FLT3 抽出コントロール

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内): 044 281.1500
Fax(日本国内): 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リューコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : データなし。
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点 : データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。
相対的蒸気密度 : データなし。
相対密度 : データなし。
溶解度 : データなし。
n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない。

自然発火温度 : データなし。
分解温度 : データなし。
粘度 : データなし。
粒子特性
中央粒径値 : 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性/腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作/皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	－	－	－
国連分類 クラス	－	－	－
容器等級	－	－	－

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
エチレンジアミン四酢酸	≤0.10	優先評価化学物質	36

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-004
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート

FLT3 ITD マスターミックス Master Mix



1. 化学品及び会社情報

製品名称 : FLT3 ITD マスターミックス Master Mix

カタログ番号 : B4120131

製品を特定する他の方法 : FLT3 ITD マスターミックス

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内) : 044 281.1500
Fax(日本国内) : 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リユーコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。
- 特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色、ライトイエロー、ライトピンク、ライトブルー、又はライトオレンジ。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : 7 から 9.5
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点 : データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。
相対的蒸気密度 : データなし。
相対密度 : データなし。
溶解度 : データなし。
n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない。

自然発火温度 : データなし。
分解温度 : データなし。
粘度 : データなし。
粒子特性
中央粒径値 : 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性／腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作／皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	—	—	—
国連分類 クラス	—	—	—
容器等級	—	—	—

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

記載された成分なし。

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-005
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート

FLT3 TKD マスターミックス Master Mix



1. 化学品及び会社情報

製品名称 : FLT3 TKD マスターミックス Master Mix

カタログ番号 : B4120141

製品を特定する他の方法 : FLT3 TKD マスターミックス

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内) : 044 281.1500
Fax(日本国内) : 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リユーコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色、ライトイエロー、ライトピンク、ライトブルー、又はライトオレンジ。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : 7 から 9.5
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点 : データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。
相対的蒸気密度 : データなし。
相対密度 : データなし。
溶解度 : データなし。
n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない。

自然発火温度 : データなし。
分解温度 : データなし。
粘度 : データなし。
粒子特性
中央粒径値 : 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性／腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作／皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	—	—	—
国連分類 クラス	—	—	—
容器等級	—	—	—

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

記載された成分なし。

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-005
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート



FLT3 ITD ポジティブコントロール Positive Control

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : FLT3 ITD ポジティブコントロール Positive Control

カタログ番号 : R0880200

製品を特定する他の方法 : FLT3 ITD 陽性コントロール

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内): 044 281.1500
Fax(日本国内): 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リューコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : データなし。
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点	: データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
相対的蒸気密度	: データなし。
相対密度	: データなし。
溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数	: 該当しない。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度	: データなし。
粒子特性	
中央粒径値	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 特にデータは無い。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性／腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作／皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	—	—	—
国連分類 クラス	—	—	—
容器等級	—	—	—

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
エチレンジアミン四酢酸	≤0.10	優先評価化学物質	36

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-004
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート



FLT3 TKD ポジティブコントロール Positive Control

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : FLT3 TKD ポジティブコントロール Positive Control

カタログ番号 : R0880210

製品を特定する他の方法 : FLT3 TKD 陽性コントロール

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内): 044 281.1500
Fax(日本国内): 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リューコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。
- 特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : データなし。
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点	: データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
相対的蒸気密度	: データなし。
相対密度	: データなし。
溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数	: 該当しない。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度	: データなし。
粒子特性	
中央粒径値	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 特にデータは無い。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性/腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作/皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	－	－	－
国連分類 クラス	－	－	－
容器等級	－	－	－

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
エチレンジアミン四酢酸	≤0.10	優先評価化学物質	36

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-004
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート



FLT3 NTC(テンプレートを含まないコントロール)

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : FLT3 NTC, FLT3 No Template Control

カタログ番号 : R0930060

製品を特定する他の方法 : FLT3 NTC (テンプレートを含まないコントロール)

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内): 044 281.1500
Fax(日本国内): 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リユーコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 無臭。
- pH** : データなし。
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点 : データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。
相対的蒸気密度 : データなし。
相対密度 : データなし。
溶解度 : データなし。
n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない。

自然発火温度 : データなし。
分解温度 : データなし。
粘度 : データなし。
粒子特性
中央粒径値 : 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性/腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作/皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性(変異原性)

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	－	－	－
国連分類 クラス	－	－	－
容器等級	－	－	－

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
エチレンジアミン四酢酸	≤0.10	優先評価化学物質	36

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-004
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート



Taq DNA ポリメラーゼ Taq DNA Polymerase

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Taq DNA ポリメラーゼ Taq DNA Polymerase

カタログ番号 : 261604

製品を特定する他の方法 : Taq DNA ポリメラーゼ

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内) : 044 281.1500
Fax(日本国内) : 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リューコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合** : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合** : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合** : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項** : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤** : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤** : 認知済みのものは無し。

特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 弱臭。
- pH** : 7.5 から 9.5
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点	: 非発火性。
引火性	: 燃焼は持続しない。
爆発性／可燃性の下限と上限	: 非引火性。
蒸気圧	: データなし。
相対的蒸気密度	: データなし。
相対密度	: データなし。
溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数	: 該当しない。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度	: データなし。
粒子特性	
中央粒径値	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件での危険な反応は知られていない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 特にデータは無い。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性／腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作／皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

11. 有害性情報

生殖毒性

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	－	－	－
国連分類 クラス	－	－	－

14. 輸送上の注意

容器等級	－	－	－
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器による積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
(アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)と α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル	$\geq 0.30 - \leq 1.0$	優先評価化学物質	222

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-001
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート



EcoRV 酵素 EcoRV Enzyme

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : EcoRV 酵素 EcoRV Enzyme

カタログ番号 : 261779

製品を特定する他の方法 : EcoRV 酵素

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内) : 044 281.1500
Fax(日本国内) : 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/
営業時間: 9:00AM~5:00PM(日本時間)

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リユーコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。
体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。(腎臓)

2. 危険有害性の要約

注意書き

- 概要 : 該当しない。
- 安全対策 : P260 - 蒸気を吸入しないこと。
- 応急措置 : P314 - 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- 保管 : 該当しない。
- 廃棄 : P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名	%	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
エチレンジアミン四酢酸	2.9	60-00-4	2-1263	データなし。

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合** : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。暴露後または気分が悪いときは医師の手当てを受けること。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 皮膚に付着した場合** : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。少なくとも20分間洗い流し続ける。暴露後または気分が悪いときは医師の手当てを受けること。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
- 眼に入った場合** : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。少なくとも20分間洗い流し続ける。暴露後または気分が悪いときは医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合** : 水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし暴露した人の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。暴露後または気分が悪いときは医師の手当てを受けること。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

- 予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

- 医師に対する特別な注意事項** : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

- 消火剤** : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤** : 注意：消火の効果がない場合は水噴射を使用。
- 特有の危険有害性** : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 特有の消火方法** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置** : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 放出現場には風上から近づくこと。 下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。 漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。 本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。 漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。 注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。 蒸気やミストを呼吸しない。 摂取してはならない。 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。 容器を再利用してはならない。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。
- 曝露限界**
なし。
- 保護具**
- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 穏やかな臭い。
- pH** : データなし。
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。
- 引火点** : データなし。
- 爆発性／可燃性の下限と上限** : データなし。

- 蒸気圧** : データなし。
- 相対的蒸気密度** : データなし。
- 相対密度** : データなし。
- 溶解度** : データなし。
- n-オクタノール／水分配係数** : 該当しない。

- 自然発火温度** : データなし。
- 分解温度** : データなし。
- 粘度** : データなし。
- 粒子特性**
- 中央粒径値** : 該当しない。

10. 安定性及び反応性

- 反応性** : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
- 化学的安定性** : 製品は安定である。
- 危険有害反応可能性** : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
- 避けるべき条件** : 特にデータは無い。
- 混触危険物質** : 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。
- 危険有害な分解生成物** : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性/腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作/皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
エチレンジアミン四酢酸	区分1	－	腎臓

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
エチレンジアミン四酢酸	急性 EC50 113000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 129000 µg/l 真水	魚類 - Ictalurus punctatus - 小魚	96 時間

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
エチレンジアミン四酢酸	-	1.8	低

土壌中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	-	-	-
国連分類 クラス	-	-	-
容器等級	-	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

14. 輸送上の注意

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
エチレンジアミン四酢酸	≥1.0 - <3.0	優先評価化学物質	36

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
エチレンジアミン四酢酸	2.9	第一種	60

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-002
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2	算出方法

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

安全データシート

NE 緩衝液 3.1 NEBuffer 3.1



1. 化学品及び会社情報

製品名称 : NE 緩衝液 3.1 NEBuffer 3.1

カタログ番号 : 261780

製品を特定する他の方法 : NE 緩衝液 3.1

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 日本における製造販売業者および技術サポート
LabPMM合同会社
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番13号
電話(日本国内) : 044 281.1500
Fax(日本国内) : 03 6745.9346
テクニカルサービス: support@invivoscribe.com
カスタマーサービス: services@labpmm.co.jp
ウェブサイト: www.invivoscribe.com/japan-cdxflt3/

緊急連絡電話番号(受付時間) : 044 281.1500
(月曜日—金曜日 9:00AM~5:00PM)

推奨用途及び使用上制限

使用目的

構成試薬の使用については、リューコストラットCDx FLT3変異検査®キット PN K4120331の使用目的に記載されています。体外診断用医薬品の使用目的については、表紙を参照してください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

暴露限界がある場合、8項に記載されている。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合には外す。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、暴露した人の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な徴候及び症状

短期的にばく露した場合の徴候症状

予想される遅発性影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 注意：消火の効果が無い場合は水噴射を使用。
- 特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関する8項の記載情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

6. 漏出時の措置

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(13項を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意：緊急連絡先の情報は1項を、廃棄処理は13項を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(8項を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。同様に8項の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(10項を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前に10項を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

曝露限界

なし。

保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 仕事の種類および危険性の程度により、個人用身体保護具を選択しなければならない。適切な履物と追加の皮膚保護対策は、実施中の作業と関連するリスクに基づいて選択する必要があります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

- 物理的状态** : 液体 [透明。]
- 色** : 無色。
- 臭い** : 穏やかな臭い。
- pH** : データなし。
- 融点・凝固点** : データなし。
- 軟化点** : データなし。
- 沸点、初留点と沸騰範囲** : データなし。

9. 物理的及び化学的性質

引火点	: データなし。
爆発性／可燃性の下限と上限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
相対的蒸気密度	: データなし。
相対密度	: データなし。
溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数	: 該当しない。
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
粘度	: データなし。
粒子特性	
中央粒径値	: 該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 特にデータは無い。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性：酸化性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

利用できるデータがない。

急性毒性の推定

利用できるデータがない。

刺激性/腐食性

利用できるデータがない。

呼吸器感作/皮膚感作

利用できるデータがない。

生殖細胞変異原性（変異原性）

利用できるデータがない。

発がん性

利用できるデータがない。

生殖毒性

11. 有害性情報

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

利用できるデータがない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

利用できるデータがない。

吸引性呼吸器有害性

利用できるデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性

利用できるデータがない。

残留性・分解性

利用できるデータがない。

生体蓄積性

利用できるデータがない。

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない。

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	—	—	—
国連分類 クラス	—	—	—
容器等級	—	—	—

14. 輸送上の注意

環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
-------	-------	-------	-------

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

記載された成分なし。

安衛法

該当しない

化学物質審査規制法

記載された成分なし。

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

印刷日 : 2021/11/30
前作成日 : 非該当
バージョン : 1
内部コード : 651-003
作成者 : KMK Regulatory Services Inc.

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

注意事項

我々の知る限りにおいて、本記載内容は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。